



発行日 2007年9月15日
発行: 盲人情報文化センター録音製作係
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1丁目東3番23号
道頓堀千鳥ビル
電話06-6211-0910(録音製作)

音声訳は補足の必要な箇所を気付く仕事

久保 洋子

目で見て読むために作られている原本を、忠実に内容がきちんと伝わるように音声訳するには、いろいろな配慮(処理)が必要です。

カッコなどの記号はどうか、漢字の補足の仕方などはこれまでに度々紹介してきました。しかし、音声訳者にとって一番大切なのは目で見ればわかるのに音にするとわからなくなる、補足の必要な箇所を気付くことです。

そのまま読んだのではわからない所、といっても色々あります。
例えば

同音異義語 文脈から容易にわかる時にはいいのですが、そうでない時は使われている字を説明したり意味を言いそえたりします。「同音異義語」には造語なども入ります。また、同じ漢字でも「音読み」と「訓読み」が一つの文章の中に同時に出て来る時の「異音同義語」や、同じ音で同じような意味で、違う漢字が同時に出て来る時の「同音同義語」などの時も必要な時があります。

字下げや空白行、活字の種類やポイントを変える、などで区別されている文章は「引用・・・引用終わり」や「カギカッコ・・・トジ」を言いそえてわかるよう

に読みます。

対談などの司会者で、人名でなく棒線、又は、空白行などで棒線もない場合などで、話し手がかわったことがわかるようになっている時には、司会者、編集者、などそこにふさわしい言葉を選んで読みかえします。

目次などで、活字を変えて項目の大小がわかるようになっていることもよくあります。、1、一、は読めばどれも「イチ」で、これでは項目の大小はわかりません。章、節、或いは、階層化して、1、1の1、など適当な言葉を補うことが必要です。

この他にも、表や図などただ読むことのできないものも色々あります。録音図書製作の現場では、当然のことながら音声訳者をはじめ校正者も編集者も原本をみながら作業を進めます。見てわかってしまうと、音にするとわからなくなる所を見逃してしまいがちです。私たちが原本を読んで理解するのと同じように理解してもらうためには、図や表は、
どのような説明をすればいいのか、
どこに入れればいいのか、
利用者の立場に立って考えてみることを忘れないようにしたいものです。

10月録音製作予定表

自宅録音チーム定例勉強会

- 9日(火) 『マトリョーシカ』 10時～12時
- 19日(水) 『はなみずき』 1時半～3時半
- 25日(木) 『二十四の瞳』 10時～12時

『橋本勝利のフロアアップ講座』

- 10日(水) 1時～3時
- 12日(金) 1時～3時

スタジオ曜日別定例勉強会

- 未定 『月曜チーム』
- 23日(火) 『火曜チーム』
- 24日(水) 『水曜チーム』
- 25日(木) 『木曜チーム』
- 19日(金) 『金曜チーム』
- 27日(土) 『土曜チーム』

『専門図書音訳チーム』定例勉強会

- 13日(土) 『古典チーム』 午後1時～3時
- 19日(金) 『東洋医学チーム』 3時～5時
- 27日(土) 『パソコンチーム』 1時半～4時
- 26日(金) 『英語チーム』 10時半～3時
- 『第三期初心者音訳講座(全8回)』
- 10月15日(月) スタート 午後1時～3時

『専門図書音訳講座(全5回)』

- 10月19日(金) 東洋医学コース スタート 午後2時～4時

- 11月19日(月) パソコンコース スタート 午後1時～3時



2007年度、録音製作の中間統計より

録音製作係 清水 賢造

昨年より製作量が、ダウン 自宅録音チームの奮闘に期待

2007年度も半分が過ぎました。中間の製作統計が出ましたが、2007年度当初に掲げた、昨年度比、30タイトルアップの目標は、現状では厳しい状況になっています。右に掲げました統計では「自館製作」(新刊発表は他館製作も一部、取り寄せて紹介している)はタイトルでは昨年度よりわずかに伸びていることになっていますが、実質の製作巻数(カセットに変換した巻数)で見ますと、昨年より129巻分少なくなっています。これは1ヶ月分の製作量に匹敵する量です。後半からは国立国会図書館からの委託製作が本格的に入ってきますので、このままでは、昨年の製作量を維持するのも大変厳しい状況になってきています。

今年から自宅録音チーム(マトリョーシカ、はなみずき、24の瞳)の3チームが共同製作を開始していますが、この自宅チームのがんばりが今後の製作量の増減に大きく影響してきます。自宅録音チームの奮闘に大いに期待していますのでよろしくお願いいたします。

一貫した養成体制の確立

「初心者音訳講習会」は第3期まで定員いっぱいの盛況

安田知博さんの「初心者音訳講習会(全8回)」(毎週月曜日、午後)は定員15名ですが、第1期から第3期まで定員オーバーの盛況です。第1期の修了生の何人かは、7月からはじまった「プライベート講習会」を受講されています。受講後は、盲人情

報文化センターの「プライベートチーム」に所属していただき、そこで月1回(第2水曜、午後)の勉強会に参加しながら、プライベート図書製作に携わっていただきます。

さらに、「蔵書製作」を希望される方は、来年7月から予定しています「録音図書製作講習会」を受講していただきます。

「初心者音訳講習会」の第2期~第3期を修了された方は、来年2月から実施予定の「プライベート講習会」(年2回実施)を受講していただく予定です。

専門図書音訳講習会は、今年10月から「東洋医学コース」(金曜日)、11月から「パソコンコース」、来年2月から「古典コース」を予定しています。特に古典コースは20名を越える方の申し込みがありますので参加者を調整しなくてはならないほどの盛況です。専門音訳講座は盲人情報文化センターの音声訳ボランティアは、順次、各コースを受講していただく予定ですのでよろしくお願いいたします。

2007年度録音製作統計

2007年度	新刊発表 総巻数	自館製 作	巻数	カセット 総数	カセット -数	データ-図 書総数
07/04月	26	20	111	856	256	163
5	22	13	70	899	273	142
6	29	18	121	1,253	358	177
7	24	17	95	685	226	140
8	39	32	112	1,286	519	314
9	23	18	119	818	269	140
10	27	19	99	871	284	178
中間計	190	137	727	6,668	2,185	1,254
2006年	191	134	856	7,890	2,691	1,297

専門図書音訳チーム 古典チーム

古典チームのメンバーは、現在13名。毎月第2土曜日の午後に勉強会を行っています。

古典チーム発足以来、主に明治維新以降の、近代文学作品を数々手掛けてきました。

古典文学に比して、これらは分かり易い文章ではありませんが、旧漢字・旧仮名遣いの表記や、今ではまったく耳にすることのなくなった言葉遣い等、今の私達にとっては「充分、古典」です。そこで、毎月の勉強会の内容も、各自が担当している作品中の、音訳処理の難しい箇所、興味深い箇所を持ち寄って、メンバーのお知恵拝借、あるいはメンバーの今後の参考に、となります。

古典の知識が全くない儘、途中入会させて頂いた

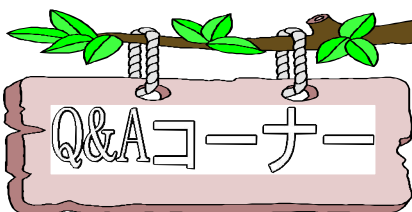
私にとって、この勉強会は唯一の「知識の仕入れ場所」。毎回、和やかで楽しい雰囲気の中、先輩メンバーの皆さんの古典の造詣の深さに感嘆しつつ、沢山の新しい知識を教えて頂いております。(その知識をずっと憶えていたら良いのですが……)

また最近では、国会図書館からの和歌や漢文の委託図書に加え、蔵書としても、古典文学作品を読み始めています。

来年の2月～3月にかけて「古典の講習会」も予定されております。興味・関心を持たれた方は、是非ご参加ください。(山口孝代 記)



第2土曜、定例勉強会



音訳する時に、本をうまく固定するものは無いでしょうか。良いものがあれば教えてください。



当館で活動されています音声訳ボランティアの遠藤さんより、「ページホルダー」(写真参照)を紹介していただきました。これは早川福祉会館でも利用しているものだそうです。一見、どう使うのかわりませんが、写真のようにして使用します。慣れると大変便利なようです。一度、試してください。

盲人情報文化センターでもスタジオに配置するようにします。価格は494円。(税込み)



「ページホルダー」

各種講座のお知らせ



専門図書音訳講座

専門図書音訳講座がこの秋から下記の内容で2コースがスタートします。受講希望者は係までお申し出ください。盲人情報文化センター推薦で受講できます。費用は入りません。

「東洋医学コース」(全5回)

講師 片山一夫氏

(元国立神戸視障センター教諭)

10月19日(金)～12月7日(金)

午後2時～4時

「パソコンコース」(全5回)

講師 中本 和代氏

(近畿視青協パソコンチームリーダー)

11月19日(月)～12月17日(月)

午後1時～3時

編集フォローアップ講座

盲人情報文化センターのダイジー編集ボランティアを対象にした講座が下記の通り行われます。火曜コースと水曜コースは既に9月中に修了しました。同じ内容で10月も行われます。編集者は調整していただき、いずれかのコースを受講してください。

「木曜コース」

第1回目 10月 4日(木)

第2回目 10月18日(木)

「金曜コース」

第1回目 10月5日(金)

第2回目 10月19日(金)

時間: いずれも 13時～15時

会場: 6階 第4会議室

講師: 大林 緑 氏

音声訳初心者講習会

安田知博氏による「音声訳初心者講習会」第4期を受け付けています。この講習会は先着順で、試験等はありません。音声訳についてはまったく初心者を対象としています。

講師 安田 知博 氏

講習期間 2008年1月21日(月)

～3月10日(月) 全8回

時間 13時～15時

会場 盲人情報文化センター6階会議室

参加費用 3000円(全8回分の資料代)

係からのお知らせ



「録音図書製作講習会」

10月から「モニターの実践研修」に

今年の4月から「録音図書製作講習会」(木曜日・12名)がスタートしていますが、10月から、講習会と平行して、ベテラン音声訳者のモニターに付く実践研修に入っていきます。モニター者は、1冊の本を「はじめから最後まで」担当するのを原則としています。曜日は月曜から土曜の各曜日にまがります。新人の研修生ですので、先輩の方々のご援助、よろしく願います。

バリアフリー 映画会のご案内

武士の一分

「武士の一分」の映画会が12月1日(土)、玉水会館で行われます。この映画は、視覚障害者や聴覚障害者も楽しめるように「音声ガイド」/「字幕」付きの映画です。今後、映画に限らず、テレビなどの番組も音声ガイド付きの番組も増えていくことが予想されます。音声ガイドは今後、視覚障害者の求めに応じて音声訳者が音声ガイドを行う仕事も新しい分野として広がっていくことが期待されています。

場所 玉水会館

日程 2007年12月1日(土)

午前の部 10時～

午後の部 14時～

13:30～感謝式典

協力金 1000円 こども500円

問い合わせ

盲人情報文化センター総務 中川

電話 06 6211 4500

主催 社会福祉法人日本ライトハウス

協賛 大阪東ライオンズクラブ